

こうじ のう きのう しょうがい 高次脳機能障害 1



しょうじょう
症状のあらわれ方は
ひとりひとりちがいます
あらわれやすいものをかきます

しょうがい ●どんな障害？

びょうき じこ のう きず
病気や事故で脳 [あたま] が大きく傷ついて

はたら
脳がうまく働かなくなる 障害

しょうじょう けいか ●どんなことがおきるの？ (症状と経過)

生活する力



脳が大きく傷つく
病気や事故

それまでできていたことができなくなります

- さっき話したことも覚えていられない
- 以前のように勉強や仕事に集中できない
- 急におこったり、泣いたりする
- すぐにつかれてしまう
- 言われないと何もしない (ぼーっとしている)
- 言葉がうまくでてこない
- 近くにある物に、よくぶつかる
- いきあたりばったりの行動になる など

時間

入院 (にゅういん)

家での生活

仕事や学校生活 ...



ちりょう
命を助ける治療
体の治療

リハビリ
テーション

体の治療がおちついて、家での生活、仕事や学校での生活になってから、
'前できてたことができない' 'なんで!?'
'とまわりの人に気づかれることが多いです。
何年もたってからわかることもあります。



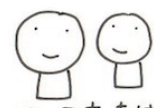
大変 喜び
混乱
「たいへん！」
「命が助かってよかった ...」



期待 不安
「きっと元どおりになる」
「これからどうなるの？」



がっかり 怒り あせり
「できてたことができない！」
「なんで!?'



いろいろあったけど
これからもあるけど
大丈夫かも...

●経過の中でいろいろな気持ちを体験 [たいけん] します ——どんな気持ちもあっていい

こうじ のう きのう しょうがい 高次脳機能障害 2

そうだん
相談できる人や場所を見つけておきます
ひとりでかかえずに

●どんなふうによくなるの？

かぞく ほんにん 家族・本人にできることは？

たいちょう ○体調をととのえる

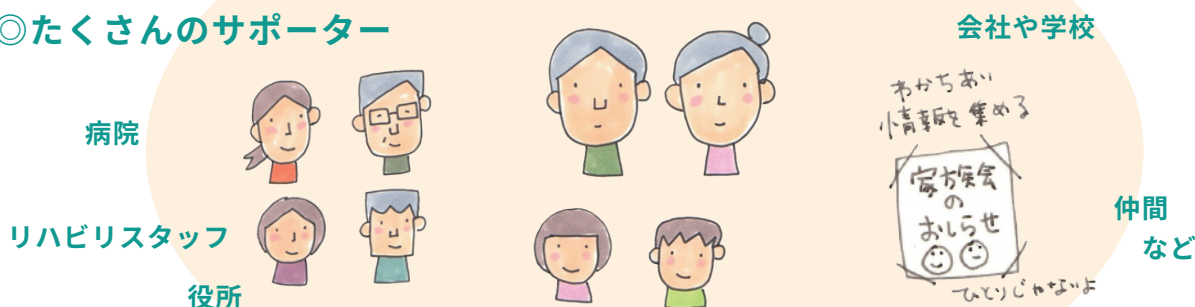
- ・きめられたくすりをのむ
- ・リハビリテーション
- ・日課をきめて生活する など

くふう ○いろいろな工夫を見つける

- ・カレンダーやメモ、手順表
スマホ、計算機をつかう
- ・ものの置き場所を
決めておく など



◎たくさんのサポーター



○生活をととのえる

- ・制度やサービスを活用する
- ・自分で出来ること（役割）を
見つけてやってみる など

*病院の
ケースワーカー



*役所の窓口

○きもちを大事にする

- ・できているところ、よいところを
大切にする
- ・ホッとできる時間をもつ
- ・家族会や当事者会で仲間と出会う
など



「見えない障害」ともいわれる、わかりづらい障害です。
障害についての勉強をしたり、本人の話や様子から、大変さを想像
したりすることで、対処方法が見つかることがあります。
サポーターもいっしょに、みんなで協力してとりくめるとよいと思います。

●障害がある人はどれくらいいるの？

1000人に4人くらい*

*東京都の調査（2008年）をもとに推計
実際には、もっと多いとも言われています

※このシートの全文はウェブサイトで公開中
もっと詳しい情報を知りたいときの参考サイトも

子ども情報ステーション
高次脳機能障害

検索